

きらめく まちビト

×
小林製薬
吉井 淳



大阪市に本社を構える『小林製薬株式会社』その天然原料調達グループで課長を担う吉井さんが、名寄に駐在所を構え、去年3月から勤務されています。その経緯などについてインタビューしました。

外国産に頼らない、安定した国産調達を目指し日々まい進

名寄で栽培する理由は？

名寄には医薬基盤研究所があり、市も農協も生薬の栽培に協力的です。カノコソウを栽培する上で、必要な農薬の登録など官民と連携しながら環境整備をしているので、栽培に適した場所と想っています。また、昔から名寄で生薬を栽培・調達をされている方に機械を借りたり、協力しながら作業したりということも1つの理由でもあります。昨今の国際情勢にて、中国を含め各国からの供給体制が今後どうなるかわかりません。生薬の国産調達化という点でも強化したいと考えています。

駐在所ができた理由は？

カノコソウは種からではなく、株分けして育てていくもので、昔から名寄で栽培されていました。栽培も技術が必要ですので、何年も作業を経験しなければなりません。その中、大阪から名寄まで往復して作業しましたが、天候次第で行程が左右されるため、うまくいかないことを感じ会社へ相談したところ、名寄に常駐し作業することになりました。ここだけでないです

が、100日ぐらいは出張でいろいろな産地に行っていたと思います。

生薬を育てる理由は？

生薬は基本的に中国産が多いです。有名な生薬であるトウキやセンキュウなどは市場で流通していますが、カノコソウは使用する方が少ないこともあり、市場流通していません。ですので、全国各地で個別に契約をし、作っていたという状況です。時期を図って産地のところに訪問し、ときにアドバイスをさせてもらいながらということとをずっとやっていました。

吉井さんも生産者なの？

製剤品用としてではなく、今後安定的に生産ができることを考え、種株用のカノコソウを作っています。それを生産者さんに提供したり、新規に生産してもらえる方に、栽培マニュアルを渡したり、直接技術指導したりするなど、普及拡大にも努めています。

カノコソウはどんな生薬？

効能として主に鎮静効果があるものです。根をきれいに

洗い乾燥させ粉末にします。その後、他の生薬と一緒に混ぜて錠剤にして服用するものとなります。

市民の皆さまに一言を

カノコソウは弊社の『命の母A』に入っている13種類の生薬の1つで、更年期や不定愁訴に効く薬です。まずはこのカノコソウが、名寄で作られていることを知ってもらえればありがたいです。名寄は全国でも収量が多い代表的な地区でもあります。また、生薬の栽培に興味がありましたら、私で良ければ指導させてもらいますので、お声がけください。よろしくお願ひします。

Profile

吉井 淳 (よしい じゅん)

今の部署の前はマーケティング部に配属され、開発業務を担当。有名なトイレ洗浄製品である「液体ブルーレットおくだけ」を開発された方。趣味はオートバイで、天気の良い日はツーリングを楽しむ。4月には、滝上ヘシバザクラを、上湧別ヘチューリップなど見に行きました。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。